

令和 7 年度
第 2 学 年

実 直

中野区立第二中学校
令和 7 年 5 月 9 日
学年通信 6 号

何を想い戦うのか

Fans , players , and people that enjoy football. We play this game for you guys. We weren't the men who play here today without fans like you guys whether there are in the U.S. or across the world. Thank you guys so much for supporting us. Thank you guys so much for being a part of our lives, being fans and being supporters. We would not be the people here today without you guys.

Los Angels Rams DB Quentin Lake

アメフト選手・アメフト好きの皆さん、私たちは皆さんのためにプレーしている。アメリカや世界中の素晴らしいファンがいなければ、選手としてプレーすることはできませんでした。いつも応援ありがとう。私たちの生活の一部のサポーターとして、皆さんがいなければ僕らはここにはいらなかったでしょう。本当にありがとう。

ロサンゼルス・ラムズ DB クエンティン・レイク

これは、NFL（ナショナルフットボールリーグ；アメリカンフットボール、アメリカの国内リーグ）で活躍する、クエンティン・レイク選手が来日中にファンに向けた言葉です。



NFLとは全米で一番人気のあるプロスポーツリーグです。世界的にみてもファンが非常に多く、大きな成功を収めています。日本では、あまり馴染みがない「アメリカンフットボール」はアメリカでは野球やバスケットボールよりも遥かにファンの多いスポーツです。

アメリカの子どもたちにとって NFL のチームに所属し、そこで選手として活躍することは幼いころからの夢であり、活躍する選手は憧れの象徴であります。先述した、クエンティン・レイク選手はロサンゼルスラムズというチームに2022年のドラフト、6巡目全体211位で指名されました。ドラフト順位が低いこともあり、多くのチャンスがもらえる立場ではなかったレイク選手は、1年目から活躍をはじめ、今や DB（ディフェンスバック）というポジションの一角を担っています。少ないチャンスをものにした集中力と継続した活躍を続けるための忍耐力がとて高いことが伺えます。

このように、ドラフトの下位順位から這い上がり、NFL の酸いも甘いも知るレイク選手が、オフシーズンを利用して来日しており、そのインタビューを見る機会がありました。何となく見ていたインタビューの様子でしたが、その時の表情や内容から、レイク選手の高い人間性を知ることができました。その最後に文頭のコメントを残したのです。

NFL という舞台で活躍する選手が、我々ファンに向けて「感謝」を述べるということに感激しました。ファンを大切にする姿勢を保ちながら、そのファンに向けて「ありがとう」を言えることが何より素晴らしいと思ったのです。

これは、私たちの生活の中にも共通する内容なのだと思います。今週から、運動会の練習が始まりました。2週間後の運動会本番に向けて実行委員を中心に前向きに一生懸命取り組んでほしいと思っています。その中で、「感謝」の気持ちをもってほしいと思います。

まずは、共に取り組む学級の仲間への感謝です。仲間と一緒にあれば一人ではできないことが達成できます。仲間と共に、チーム一丸となり、目標に向けて取り組む大切さを感じてほしいと思っていますし、そのことを共有できる仲間への感謝を忘れずに過ごしてほしいです。

次に、お家の方への感謝です。運動会練習期間はいつもの生活とは異なる点も生じます。例えば、体育着。もし、お家の方が体育着を洗って干して畳んで翌日には着れるような状態にしてくれているのであれば、そこに感謝の気持ちをもつことはとても大切です。

他学年の生徒の皆さんへの感謝も忘れてはいけません。3年生は、皆さんがこれから進むべき道筋を示してくれます。最後の運動会を迎えている3年生の勇姿を目に焼き付けましょう。既に、校庭から3年生の元気な声が聞こえているように、皆さんにとって到達すべき姿をみせてくれると思います。1年生には、私たち2年生がお手本になれるように。

お手本になろうとすると人は成長します。成長のきっかけをもたらしてくれた1年生に感謝の気持ちを持ちながら、一生懸命取り組むべきです。1年生と3年生の架け橋となれるような活躍を期待しています。

最後に運動会では競う相手となる2学年の皆さんへの感謝を。相手がいないければ競技性のある運動会はできません。加えて、好敵手は自分を次の高みへ導きます。運動会中に相手への感謝の気持ちをもつことは難しいことかもしれません。しかし、運動会が終わった時にこの学年で共にできてよかったと感じたのならば、素直な感謝の気持ちを表現してほしいです。それが、中学校で行われる学校行事の在り方だと思います。

運動会という行事を通して感謝が見つかる場面は他にもたくさんあります。感謝は探さなければ見つかりません。どこかに潜む感謝をそれぞれ一人ひとりが見つけてみましょう。加えて、感謝の気持ちを持ちながら、それぞれ運動会の取り組みを進めてください。気持ちを込めて取り組む行事は、きっと良い形で思い出に残る充実した行事になります。

今回は「感謝」をテーマにお話をしました。行事に限らず日常生活の中で感謝の気持ちをもつこと、それを言葉で伝えることはとても重要です。素直な気持ちで「ありがとう」と言える人間性を身につけ、よりよい人間関係の構築をめざしてください。

この学年通信を作成するにあたり、「NFL 選手がもつ感謝の気持ちをそのままの言葉（英語）で綴りたい!」という、私の意向を認め賛同し、英語が苦手な私のために、快く解説と文字おこしを担ってくださった英語科の先生に、心より感謝を申し上げます。ありがとうございました。



【保護者の皆さま】 

いよいよ、運動会の練習が始まりました。今年は例年よりも2週間早い5月の開催になります。そのこともあり、GW が明けてすぐに練習にとりかかっています。2年生の学年種目は「台風の目」です。1年生のときに実施した、個人種目の台風の目を今年度は学年種目として実施します。さらに磨きのかかった迫力の増した台風の目をめざして練習を積み重ねていきます。日々、暑くなることも予想されますので、運動会練習期間は日頃よりも少し多めに水分をもたせていただければと思います。お子様、生徒の皆さんとともによりよい運動会を作り上げられるよう、我々2学年の教員も一生懸命やらせていただきたいと思います。これからも応援をどうぞよろしくお願いいたします。